

# プラナスソリューションズ株式会社

## SCA/HPCAsia 2026



東証プライム上場 グループ企業として「HPCをもっと身近なものに」を掲げ

HPCソリューションを提供するデータセンター発の独立系 **Sler**として展開しています。

会社名:	プラナスソリューションズ株式会社
本社所在地:	東京都新宿区西新宿 7-20-1 住友不動産西新宿ビル 32階
設立年月日:	2018年5月1日
主要株主:	さくらインターネット 100%出資
従業員数:	25名 (2025年3月時点)
資本金:	1億円 (資本準備金 1億円)
代表者:	代表取締役社長 臼井 宏典

## 事業内容

コンピュータ及びその周辺機器の販売・設置・構築・保守  
コンピュータソフトウェアの企画・開発及びその販売・保守  
各種システム及びインターネットに関わるコンサルティング・運用

## サービス環境

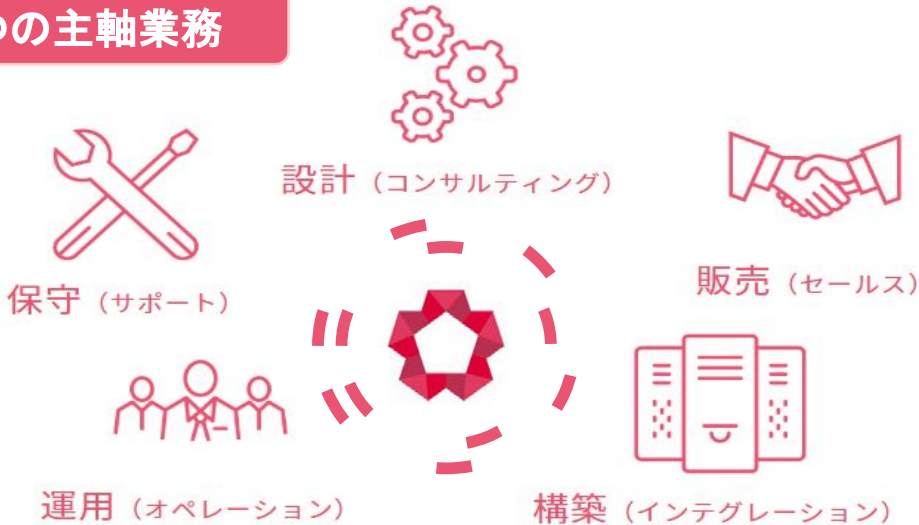
オンプレミス、ハウジング、ホスティング、パブリッククラウド  
プライベートクラウド

## 情報セキュリティ

ISMS JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC27001:2013)  
プライバシーマーク JIS Q 15001:2017



### 5つの主軸業務



### お取引先様 (順不同)



システムインテグレーション事業を中心に省庁・研究機関、民間企業のお客様に事業を展開しています。

## ビジネスモデル

### 提案

- システム概要・構成図
- 製品の仕様・機能・性能
- 見積金額(初期・保守)
- 導入スケジュール

### 導入・成果物

- 製品発注・導入調整
- キットニング・設定作業
- 導入設置・設定作業
- 仕様書、設計書の提出

### 保守・運用

- 保守・運用体制の構築
- 障害対応、運用対応
- 増設・リプレイス対応



省庁・研究機関  
民間企業



### 設備課題・投資ヒアリング

- ITシステムの課題、要望
- 次期投資のご予算、時期
- システムの目的や機能、性能、品質を明確化

### RFP開示・発注・利用

- 要求整理、予算・期間確定
- RFPの作成・開示
- ご発注・導入調整
- ご利用開始

## パートナー

さくらグループ  
データセンター・クラウド事業



- 協業会社
- 業務委託
- メーカー
- 代理店

## ソリューション

システム  
インテグレーション



ハイパフォーマンス  
コンピューティング

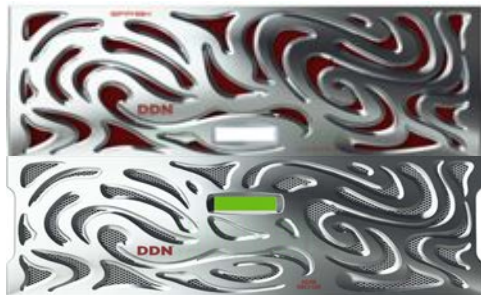


高速ストレージ



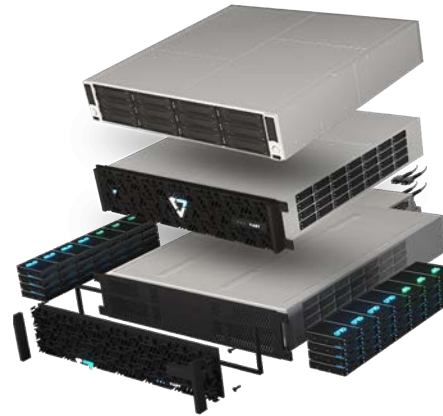
高速通信





高速・大容量

Lustre・並列FS



スケーラブル・AI

マルチプロトコル・マ  
ルチテナント

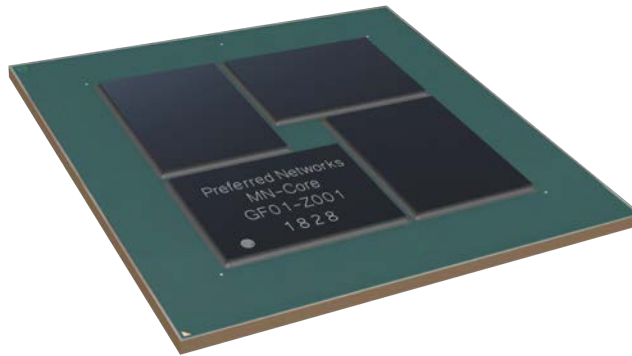


長期間・大容量

管理SWとの連携

生成AI・基盤モデルの開発に必要な高速かつ莫大な計算力を賄うため、AIの学習を高速化する電力効率の高いAIプロセッサーMN-Coreシリーズを神戸大学と共同開発。

## 第1世代

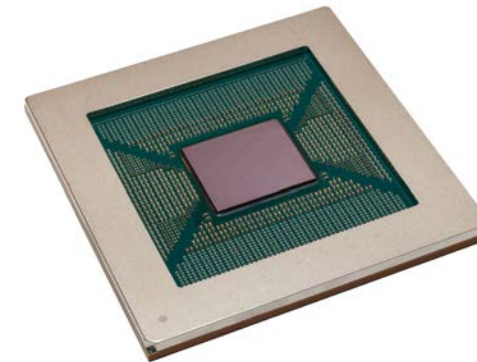


### MN-Core

TSMC 12nmプロセスで製造  
2020年稼働開始

※MN-Core を搭載したスーパーコンピューター「MN-3」は2020年から2021年にかけて Green500 において世界首位を3度獲得

## 第2世代



### MN-Core 2

TSMC 7nmプロセスで製造  
2023年稼働開始

※2024年から販売開始  
※PFCPとしてクラウド提供中





## MN-Core 2 Devkit

MN-Core 2ボードを1枚搭載するデスクトップマシン。オフィス環境でも手軽に置くことができ、MN-Core 2によるAIアクセラレーションを手軽に体感することができます。

AIアクセラレータ総理論演算性能：TF16 393TF

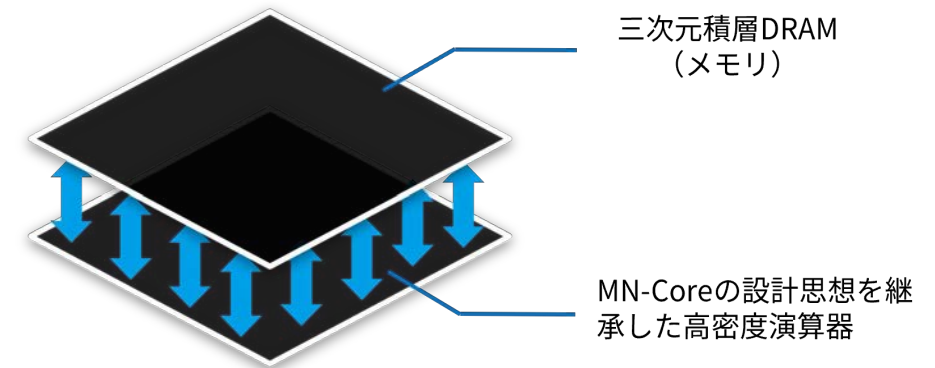
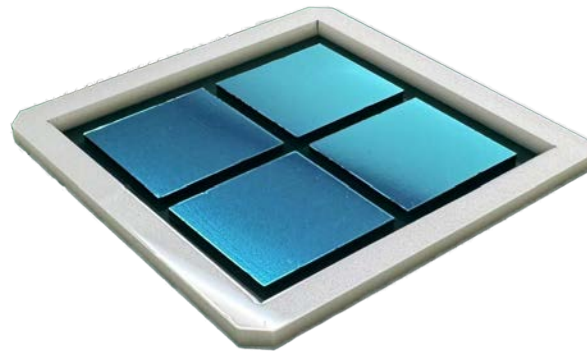
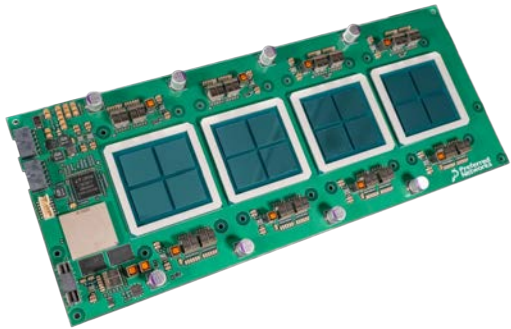


## MN-Server 2

MN-Core 2 ボードを8枚搭載するラックマウント型5Uサーバ。Preferred Networks 社が運用する計算機クラスターで実利用しています。

AIアクセラレータ総理論演算性能：TF16 3.1PF

- 電力効率の高いMN-Coreアーキテクチャに三次元積層の分散メモリを搭載
- 生成AI利用時（推論）に、既存プロセッサの最大10倍の高速処理を目指す

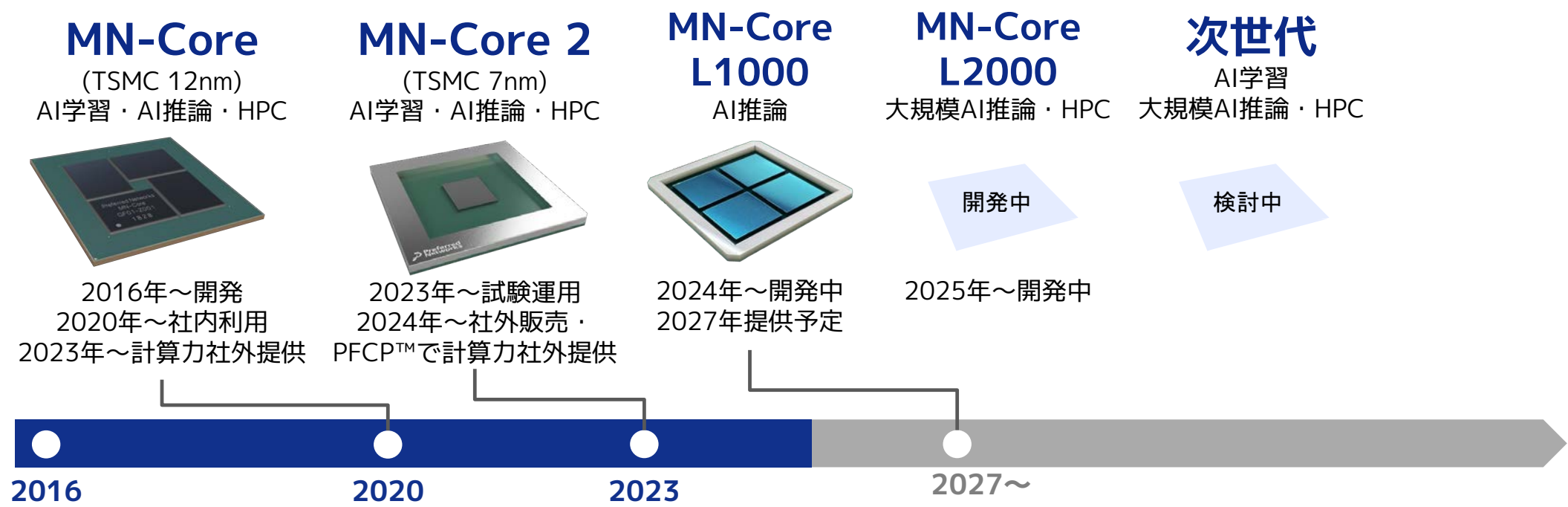


## MN-Core L1000

生成AI向け省電力AIプロセッサ  
(2027年提供予定)



Preferred Networks 社はAIの計算資源としての半導体の需要増をいち早く予測し、2016年にAIプロセッサMN-Core™シリーズの開発を開始、現在は第2世代のMN-Core 2が稼働中。また、生成AIの推論（利用）に必要な計算処理に特化した高バンド幅半導体の開発・製品化を進めています。





## さくらインターネットの下請けで、プラナスソリューションズが構築したシステムが 2019年6月当時のスパコンランキング「TOP500」において、世界 54位(国内10位)！

さくらインターネット石狩DCにおいて、768基のNVIDIA V100を搭載したサーバ等において構成され、高い品質管理のもと、現在でも運用されています。

### 主な構成要素

- ・HPE Appolo 6500 G10 96台 (NVIDIA V100 768基)
- ・DDN SFA14K 4PB
- ・Mellanox Infiniband Switch



さくらインターネットの石狩データセンターで稼働するクラウド型のスパコンが、処理性能ランキングTOP500で、世界54位を獲得

 PDFダウンロード

2019年6月18日

さくらインターネット株式会社

インターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕）の石狩データセンターで稼働する高火力コンピューティング基盤を活用したクラウド型のスーパーコンピューター（以後、スパコン）システムが、スパコンの処理性能ランキングである「TOP500」※1で、**世界54位**を獲得しました。

スパコンの領域において、サービス利用によるコンピューターリソース調達の機運は高まってきています。従来は、利用者が自前の資産として必要なサーバーなどの機材を調達し構築、運用を行うことが主流でしたが、電力消費量および資産管理コストの増加を回避するために、コンピューターリソースをクラウド型のサービスとして利用したいというニーズが増えています。

今回、世界54位を獲得したのは、研究用途として採択されたシステムで、当社とHPC（ハイパフォーマンスコンピューティング）領域のシステムインテグレーションを行う**プラナスソリューションズ**株式会社※2および協力会社と共に構築しました。本システムは、NVIDIAのGPU「Tesla V100」を

令和6年度に大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所の調達案件「令和6年度大規模言語モデル構築向けクラウドサービス一式」を当社にて落札しました。

さくらインターネットが提供する高火力PHY(GPUクラウドサービス)と高速ストレージ等を組み合わせて提供

プレスリリース

### 主な構成要素

- ・さくらインターネット 高火力PHY 100台 (NVIDIA H100 800基)
- ・DDN ES400NVX2 1PB(高速ストレージ)
- ・DDN ES400NVX2 10PB(低速ストレージ)
- ※ストレージはさくらインターネット DCに設置



2024.06.18 お知らせ

「令和6年度大規模言語モデル構築向けクラウドサービス一式」の落札に関するお知らせ

2024年6月18日  
プラナスソリューションズ株式会社

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（以下「NII」という。）の調達案件「令和6年度大規模言語モデル構築向けクラウドサービス一式」について本日開札が行われ、当社が本件について落札いたしましたので、お知らせいたします。


記

- 1. 本件落札について  
当社は、NIIより「令和6年度大規模言語モデル構築向けクラウドサービス一式」を落札いたしました。
- 2. 案件概要  
受注総額（予定）：約27.9億円（税抜）

メーカーフリーでお客様のニーズにあった製品を選定しご提供いたします。

## 【参考】取扱製品例


Server・AI・HPC



Storage・HCI



Cloud



マルチクラウド

Network



Network Security



ゼロトラスト

SaaS

グループウェア	クラウドストレージ	問い合わせ管理
Microsoft 365		
Garoon	box	zendesk
		freshworks

# HP



ProLiantシリーズ  
Alletraシリーズ  
Scale-up Server等

弊社プラナスソリューションズは独立系のシステムインテグレーターとして特定の製品に依存しないマルチベンダー対応を強みとしております。

お客様の課題に対し、常に最適な IT ソリューションを中立的な立場でご提案します。

# DELL

Technologies

PowerEdgeシリーズ  
PowerScaleシリーズ  
Data Domain Server等



# Lenovo

# ASUS



**HPE** aruba  
networking



Arubaシリーズ  
Comwareシリーズ  
Juniperシリーズ等

弊社プラナスソリューションズはネットワーク機器でも強みを持っており、数々の導入実績がございます。

L2/L3レイヤーにおける課題を最小化し、小規模インフラからHPC向け環境まで様々な環境に対して最適な IT ソリューションを提供します。

**DELL**  
Technologies



PowerSwitch Zシリーズ  
PowerSwitch Sシリーズ  
モジュラー型スイッチ等

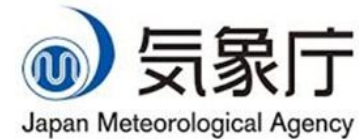


**FORTINET**®



**NETGEAR**®

## 研究機関・大学



## 民間企業

製造業（半導体、機械系）、通信キャリア、インターネットサービス、医療、鉄道、ほか



ご不明な点などございましたら、以下までお問い合わせください。

プラナスソリューションズ株式会社 中田尚宏  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル32階  
Tel : 03-4400-1155 Fax : 03-4400-1160 MP : 090-4413-0296



# Appendix

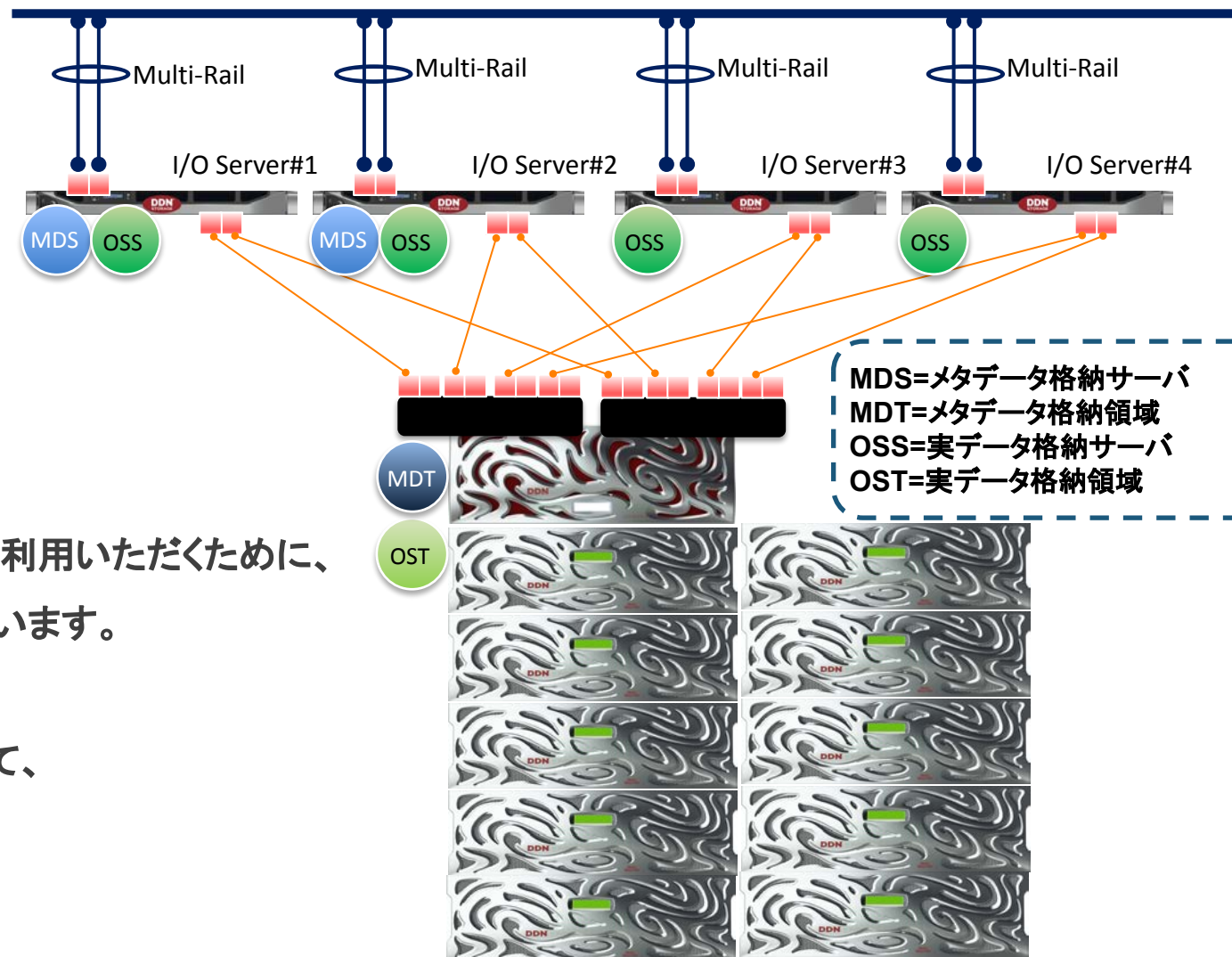


超大容量高速ストレージとして、  
データダイレクト・ネットワークス社と提携をしています。

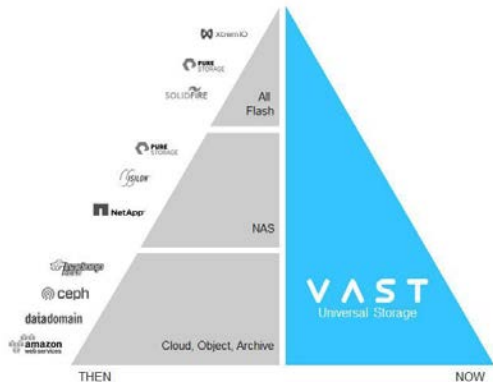
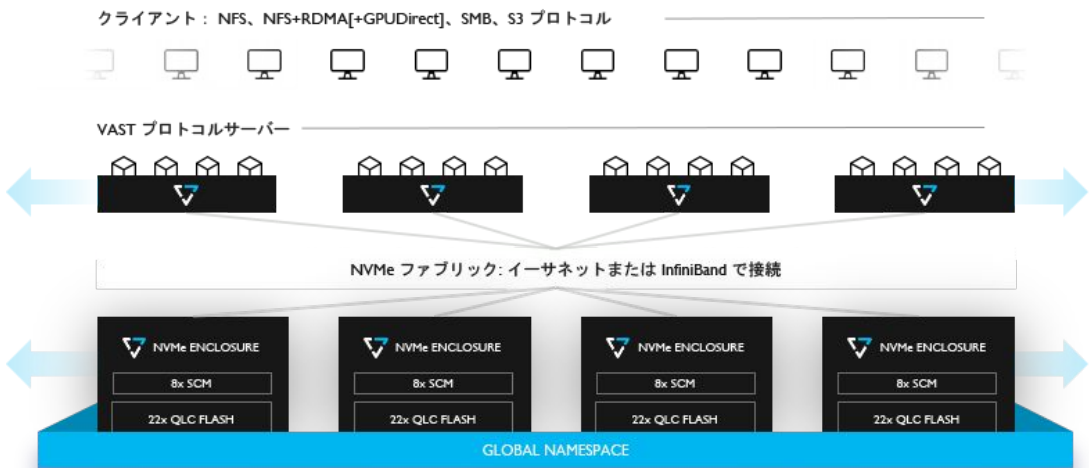
DDNの高性能・スケーラブルなソリューションを安心してご利用いただくために、  
高い技術と経験をもつ技術者によるサポートをご提供しています。

量子・AI・HPC基盤等のデータ集約型ワークロードに対して、  
究極の性能と効率性を提供します。

<構成例>



# 主要取扱製品：VAST Date Platform



AIのために設計された安全かつスケーラブルなデータストレージソリューションを提供するため、VAST社と提携をしています。

VAST は、オープンプロトコルを採用しており、クライアントドライバを使うことなく最適化されたサービス提供が可能です。

## オールフラッシュのコストの概念を再定義

DASEの効率化アルゴリズムに力、フラッシュのコストがHDDと同等に。類似性アルゴリズムが業界最高レベルのデータ削減を実現。新たなイレジャーコーディング技術が障害保護のオーバーヘッドを最小化。新しいQLC管理手法に力、QLCを10年以上保護可能。

## エッジからクラウドまでのグローバルネームスペース

VAST DataSpace は、すべての計算拠点にわたるグローバルなデータアクセスを提供するよう設計されています。分散ロックの非中央集権的な仕組みに力、エッジでも性能と整合性を維持しながらトランザクションを実行可能です。

## シンプルかつスケーラブルなスナップショット

当社は、エクサバイト規模でも容易にスナップショットを取得できる新しいデータ構造を開発しました。VASTのスナップショットはデータのコピーを必要としないため、パフォーマンスに影響を与えません。10万件以上のスナップショットを容易に取得・複製可能です。

## リフレッシュやマイグレーションの排除

VASTの非対称型クラスターアーキテクチャでは、複数世代のフラッシュやCPUハードウェアを単一のクラスターに統合可能で、ユーザーに階層構成の複雑さを見せません。このアプローチに力、ハードウェア更新が煩雑なデータ移行が不要になります。

## 柔軟な QoS（サービス品質）制御

DataStore には複数レベルの QoS 機能が搭載されており、スケーラブルなサービス提供とインフラ統合を可能にします。論理レイヤーおよびハードウェアベースの QoS ツールに力、ノイズネイバーやコンピュータクラスタ全体のI/Oフローの制御または分離が可能です。

## 環境にやさしい設計

VASTベースのシステムは、環境負荷を抑える設計です。VASTの効率化アルゴリズムに力、ストレージレベルでの電力消費を最小限に抑えるとともに、リアルタイムI/Oをアーカイブまで実現することで、コンピューティング電力の節約にも貢献します。

## コールドアーカイブソリューション

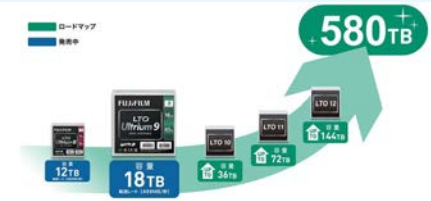
低頻度データの長期保存に最適。ランサムウェアやサイバー攻撃からデータを保護し安全性を確保するソリューションです。

### コールドアーカイブソリューションとは

- アクセス頻度が低いデータを長期間安全に保存する方式
- コストや電力を抑え効率よく安全に保全可能
- オフライン保存でランサムウェアからの防御も可能

### オフラインアーカイブソリューション

- メディアをテープ装置から取り外してオフライン保管可能
- エアギャップによりランサムウェアからの復旧に利用可能
- さらに必消費電力が抑えられる効率の良い ECOなシステム





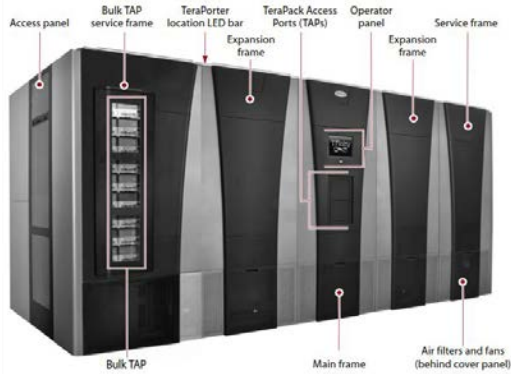
# Spectra Stack、T950、Cubeの比較



基本筐体



拡張フレーム    基本フレーム



	Spectra Stack	T950	Tfinity	Cube
筐体サイズ	H26.8cm x W47.5cm x D89.2cm 6Uラックマウント	H208.3cm x W73.7cm x D110cm 筐体ごと設置	H208.3 cm x W73.7 cm x D109.9 cm 筐体ごと設置	H201.7cm x W91.2cm x D115.3cm 筐体ごと設置
最大連結	7台	8台	45台	単体のみ
ドライブ数(最小/最大)	1月21日	2/120(1筐体最大24)	2/168	2/30
スロット数 <sup>*1</sup> (最小/最大)	10/560	10/10020(1筐体最大920)	10/56,400	10/1670
最大容量 <sup>*2</sup>	10PB	180.3PB(1筐体最大16.5PB)	1.6EB	30.06PB
管理ソフトウェア	BlueVision	Lum OS	Lum OS	Lum OS

※<sup>1</sup>LTOの場合  
※<sup>2</sup>LTO9(非圧縮)にて計算

# 事例1 :3Uテープライブラリ+PSM

国内にて約30システム導入している当社アーカイブソリューションの基本構成です。

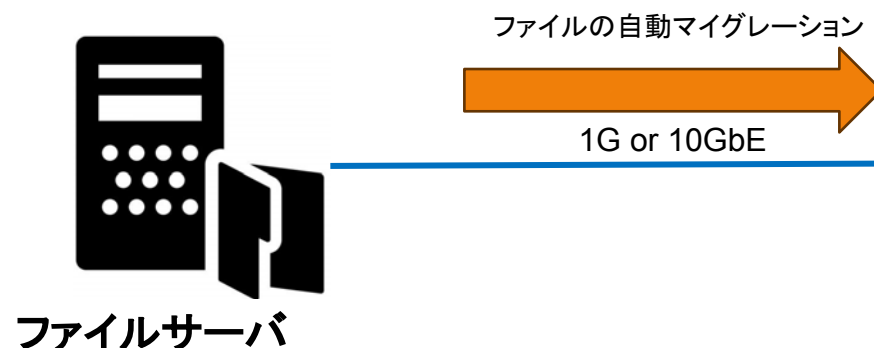
3U40slots (LTO8 or 9) のテープライブラリとPSMをインストールした1Uサーバの組み合わせとなります。

中には3U40slotsのライブラリに同じスペックの拡張筐体をつけ、合計6U80Slotsのライブラリの構成で導入されている場合もございます。

導入されているユーザ様は以下の通りです。

- ・某国立大学様: ログデータのアーカイブ
- ・某建設業様: CADデータのアーカイブ
- ・某製造業系研究所様: 研究データのアーカイブ
- ・某製造業様: 製品製造時の画像ファイルのアーカイブ
- ・某病院様: PACSのレントゲンデータのアーカイブ
- ・某自治体様: ファイルサーバのコールドデータのアーカイブ

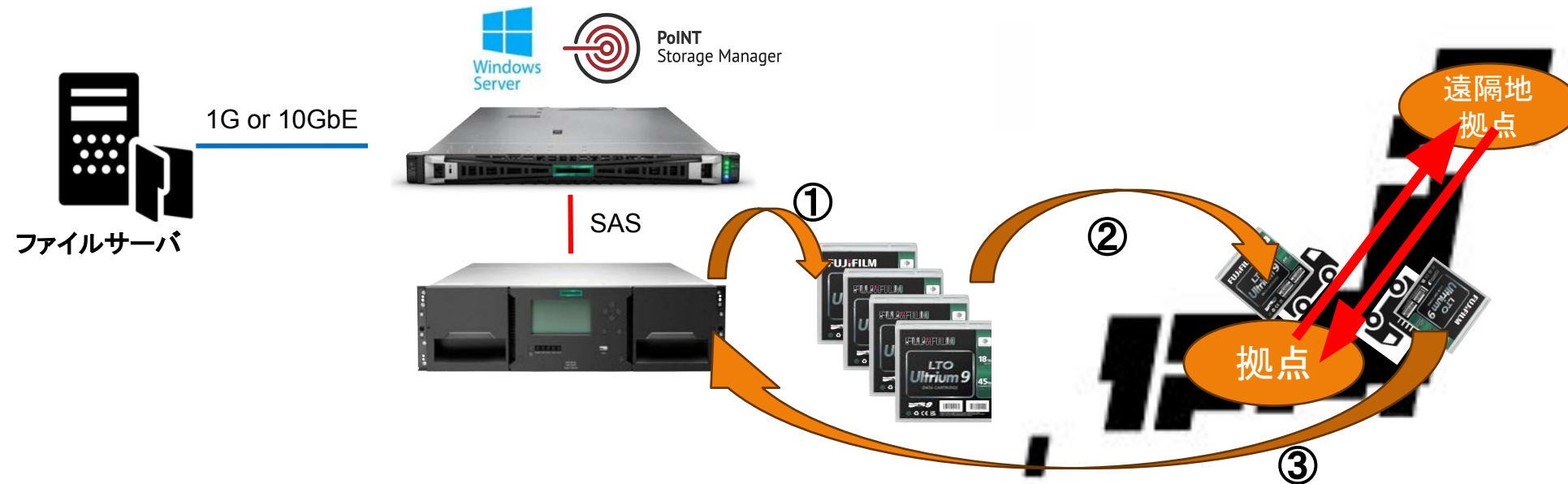
等



- HPE DL360  
CPU: Xeon 8C/16T, 32GB memory  
960GB SSD x2, 1.6TB SSD x3  
SAS HBA  
1GbE or 10GbE  
Windows 2022 Std
- HPE MSL3040  
2 ~ 3 LTO9 HH SAS Drive  
LTO: 40Slots (720TB ※LTO9)  
3U

# 事例2 :3Uテープライブラリ+PSMによるDR対策遠隔地保管運用

事例1の構成にて導入されているユーザ様の中では、データを書き込んだ LTOテープメディアを遠隔地にて保管し、DR対策として運用されている事例もございます。  
HDDやSSDと異なり、テープメディアは筐体から取り出して保管することが可能なため、物理的に遠隔地へ輸送し、保管することが可能です。

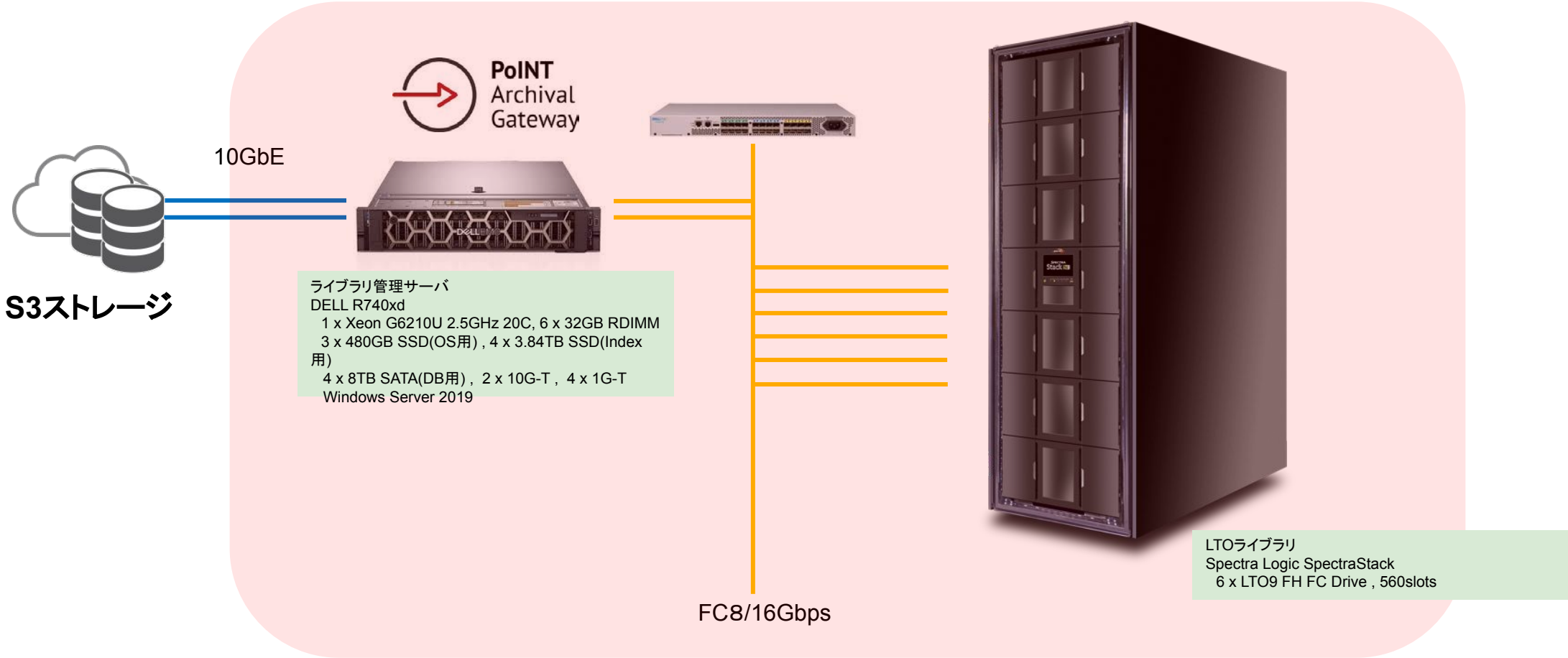


- ① 1つのファイルを正、副、予備1、予備2の合計4本のメディアにアーカイブ
- ② 予備1のみを筐体から取り出し、遠隔地にて保管
- ③ 予備2のみを筐体から取り出し、遠隔地にて保管、同時に遠隔地に保管していた予備1を遠隔地から戻し、遠隔地にて保管していた際に書き込んでいなかった差分のファイルを正副のメディアからTape-to-Tapeでコピー  
以後③を繰り返すことにより、遠隔地でのメディア保管且つ、遠隔地にあるメディアのデータの差分も最小限に留めることが可能に

# 事例3：某医療系国立研究所

背景：ゲノム解析前の一次データは安全かつ安定的に長期間保管し今後のデータの再利用や災害時などのデータ保全を行う必要がある。そのためにテープメディアに大容量のデータを保管することが可能なコールドストレージシステムの調達を実施。

提案：PoINT Archival GatewayとSpectra Logic SpectraStackとの組み合わせにより、7PB弱の大容量保管を実現



# 事例4：某情報系国立研究所

背景：研究データ蓄積用ストレージサービスのための機材を導入する必要があり、このサービスは、さまざまな機能を有するストレージ群（オブジェクトストレージ、セキュアストレージ、コールドストレージ）を組み合わせることで階層構造化し、利用者の要望に応じられる必要がある。そのために上記を構成するコールドストレージシステムの調達を実施。

提案：PoINT Archival GatewayとSpectra Logic T680との組み合わせにより、5PB弱の大容量保管および12個のLTO8ドライブへの高速なアクセスを実現。

